

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成26年3月4日)

| 項目                                 | ページ                   |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1 株式会社アイネットサポートの鳥取市進出に係る調印式の開催について |                       |
|                                    | 【立地戦略課】……………1         |
| 2 環日本海定期貨客船航路の運航状況等について            |                       |
|                                    | 【経済産業総室（通商物流室）】……………3 |

商工労働部

# 株式会社アイネットサポートの鳥取市進出に係る調印式の開催について

平成26年3月4日

関 西 本 部

立 地 戦 略 課

株式会社アイネットサポート（本社：東京都新宿区）が、業務拡大に伴い、鳥取市内に事業所を新設することとなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市との間で協定書の調印式を行いました。

## 1 企業概要

- (1) 名 称 株式会社アイネットサポート
- (2) 本社所在地 東京都新宿区高田馬場一丁目31番18号
- (3) 代 表 者 代表取締役社長 豊田 繁太郎
- (4) 資 本 金 171,187千円
- (5) 従 業 員 数 113名
- (6) 事 業 内 容 カスタマーサポート、テクニカルサポート、クラウド型IP電話のサービスの提供、遠隔サポート事業、電機通信事業、システム開発 など
- (7) 主な事業所 大阪、中国上海・大連、宮崎

## 2 立地計画概要

鳥取市内の空きオフィスを活用し、事業所を開設する。

- (1) 名 称 株式会社アイネットサポート鳥取
- (2) 開 設 場 所 鳥取市千代水2丁目35番地（八幡東栄ビル2階・4階）
- (3) 代 表 者 代表取締役社長 前田 健次郎
- (4) 事 業 内 容 パソコン・スマートフォン・タブレット及び周辺機器等のテクニカルサポート、カスタマーサービスセンター
- (5) 雇 用 計 画 100名程度（3年計画）
- (6) 操 業 開 始 平成26年6月（予定）

## 3 調印式

- (1) 日 時 平成26年2月27日（木）午前10時から10時40分まで
- (2) 場 所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者 株式会社アイネットサポート  
代表取締役社長 豊田繁太郎  
鳥取市市長 竹内 功  
鳥取県知事 平井 伸治

株式会社アイネットサポートの鳥取市への事業所開設に係る  
協 定 書 調 印 式

# 協 定 書

株式会社アイネットサポート（以下「甲」という。）、鳥取県（以下「乙」という。）及び鳥取市（以下「丙」という。）は、甲の鳥取市への進出について次のとおり協定する。

第1条 甲は、別紙1のとおり鳥取市に事業所を設置するものとする。

第2条 乙及び丙は、前条に定める事業所の設置及び操業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲は、従業員の採用に当たっては、鳥取市在住者の積極的な採用に努めるものとする。

2 乙及び丙は、甲の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第4条 甲が別紙1のとおり鳥取市に事業所を設置することに対し、乙及び丙は、別紙2に定める支援を行うものとする。

第5条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第6条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙が協議して定めるものとする。

上記のとおり協定した証として、本書3通を作成し、甲、乙及び丙がそれぞれ署名押印の上、各自その1通を保有し、信義を重んじ誠実にこの協定を履行するものとする。

平成26年2月27日

甲 東京都新宿区高田馬場一丁目31番18号 株式会社アイネットサポート 代表取締役社長

乙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 鳥取県 鳥取県知事

丙 鳥取県鳥取市尚徳町116番地 鳥取市 鳥取市長

(別紙1)

## 進 出 計 画 概 要

|          |   |
|----------|---|
| 1 事業所の名称 | 株式会社アイネットサポート鳥取                                       |
| 2 所在地    | 鳥取市千代水二丁目35番地 八幡東栄ビル                                  |
| 3 事業所開設  | 平成26年6月(予定)   |
| 4 事業内容   | パソコン・スマートフォン・タブレット及び周辺機器等のテクニカルサポート、<br>カスタマーサービスセンター |
| 5 雇用計画   | 100名程度(3年計画)  |

(別紙2)

### 1 鳥取県の支援

- ・鳥取県企業立地等事業助成条例（平成25年鳥取県条例第8号）に基づく支援
- ・働くぞ！頑張る企業を応援する鳥取県正規雇用創出奨励金支給要領（平成23年4月1日制定）に基づく支援
- ・働くぞ！頑張る企業を応援する鳥取県大量雇用創出奨励金支給要領（平成23年4月1日制定）に基づく支援
- ・鳥取県企業立地等事業による新規雇用者研修費補助金交付要綱（平成24年8月17日制定）に基づく支援

### 2 鳥取市の支援

- ・鳥取市企業立地促進要綱（平成14年9月4日制定）に基づく支援
- ・鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金交付要綱（平成15年12月15日制定）に基づく支援
- ・鳥取市大量雇用創出補助金要綱（平成23年3月25日制定）に基づく支援

# 環日本海定期貨客船航路の運航状況等について

平成26年3月4日  
経済産業総室通商物流室

## 1 境港における利用状況（境港管理組合の暫定集計）

- ・2013年の境港～東海間の旅客数は、延べ24,410人（前年比3.9%減）とやや減少したが、一定の水準は確保している。韓国人旅客が92.8%と大部分を占めた。
- ・2013年の境港の取扱貨物量は、9,737ft（前年比9.1%増）となり、堅調に伸びている。

### ■旅客実績

| 区分    | 運航回数 | 延べ旅客数   | 1便当たり<br>平均旅客数 | 旅客国別内訳             |                |                  |                |
|-------|------|---------|----------------|--------------------|----------------|------------------|----------------|
|       |      |         |                | 韓国                 | 日本             | ロシア              | その他            |
| 2012年 | 50航次 | 25,388人 | 254人           | 22,883人<br>(90.1%) | 747人<br>(2.9%) | 1,365人<br>(5.4%) | 393人<br>(1.6%) |
| 2013年 | 49航次 | 24,410人 | 249人           | 22,641人<br>(92.8%) | 619人<br>(2.5%) | 725人<br>(3.0%)   | 425人<br>(1.7%) |

### ■貨物実績

| 区分    | 運航回数 | 境港での貨物実績 |         |         |         | 1便当たり<br>平均貨物量<br>(トン数) |
|-------|------|----------|---------|---------|---------|-------------------------|
|       |      | コンテナ貨物   |         | バルク貨物   | 合計トン数   |                         |
|       |      | (TEUベース) | (トンベース) |         |         |                         |
| 2012年 | 50航次 | 608TEU   | 3,651ft | 5,272ft | 8,923ft | 89.2ft                  |
| 2013年 | 49航次 | 559TEU   | 3,094ft | 6,643ft | 9,737ft | 99.4ft                  |

※1TEUは、20フィートコンテナ1個を表す単位

※トン数の単位としているft(フット)とは、容積1.113m<sup>3</sup>(40立方フィート)、重量1,000kgをもって1トンとし、重量または容積の何れか大なる方を採用する換算方式

### ■航路・船積区分別 貨物状況（2013.1～12月末まで）

|             | 区分   | 出入 | 単位  | 数量    | 主な内容           |
|-------------|------|----|-----|-------|----------------|
| 境港⇄東海       | コンテナ | 輸出 | TEU | 10    | 水産品            |
|             |      | 輸入 | TEU | 231   | 水産品、野菜・果物      |
|             | バルク  | 輸出 | ft  | 671   | 輸送用容器、産業機械、水産品 |
|             |      | 輸入 | ft  | 199   | 自動車、金属製品、産業機械  |
| 境港⇄ロシア・オストク | コンテナ | 輸出 | TEU | 263   | 雑貨、産業機械、ゴム製品   |
|             |      | 輸入 | TEU | 55    | 水産品            |
|             | バルク  | 輸出 | ft  | 5,534 | 建築資材、自動車、産業機械  |
|             |      | 輸入 | ft  | 239   | 自動車            |

## 2 県内企業の貨物利用の実態等

### (1) 県内企業の利用状況

- ・2013年にDBS航路を利用し、韓国、ロシアへ輸出を行った県内企業は16社（県内企業自らが輸出業者になったものに限る。）あり、主な輸出品目は、自動車、産業機械、ゴム製品等だった。

### (2) 県内利用企業の声

- ・中国渤海エリアと境港を結ぶ定時・小口輸送サービスを利用することにより、天津からの部品調達コストの削減、輸送期間の短縮ができた。（機械製造メーカー）
- ・冬場における韓国メーカーへの納期厳守のため、DBS航路の優れた定時性に着目し、利用を開始したところ、納期、輸送品質ともに良好だった。今後は、コストの低減が課題。（電子デバイスメーカー）
- ・DBS船内での販売用として安定した商品取引があり売上増につながっている。船内販売は、韓国、ロシア国内での商品販売のPRにも役立っている。（食品加工販売メーカー）

### (3) 境港におけるロシア貿易額

- ・神戸税関の貿易統計によると、境港における2013年のロシア貿易額は、2,884百万円（前年比11.1%増）、うち輸出額は2,525百万円（前年比22.4%増）となった。輸出額は、航路が開設された2009年の5.1倍に増加した。

## 3 運航船舶（イースタンドリーム号）の法定定期点検及び浦項～舞鶴間の試験運航への備船について

DBSクルーズフェリー社より県に対し、次のとおり報告と理解要請があった。

- ・3月13日（木）から3月29日（土）までの間、釜山港においてイースタンドリーム号の法定定期点検及び修繕工事を実施する。
- ・これに先立ち、3月10日（月）から13日（木）までの間、京都府・舞鶴市・慶尚北道・浦項市が実施する浦項港～舞鶴港間の試験運航にイースタンドリーム号を備船に出す予定である。
- ・上記により、3月9日（日）～3月29日（土）の21日間は、定期航路の運航は欠航となる。（欠航便：3月14日、21日、28日境港入港便）